

令和5年度 第1回 静岡県建設業審議会

働き方改革ロゴマーク
「ふじ丸」



建設現場も働き方改革@静岡
静岡県交通基盤部
建設経済局建設業課



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

1

本日ご意見をいただく内容

- 1 ビジョン、計画の進捗状況について
- 2 静岡県の担い手確保の取組について
- 3 産官連携による一斉休工の実施報告
- 4 適正な価格による発注について

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

2

1-1 進捗状況の確認について

経緯

令和2年度の建設業審議会において、建設産業ビジョンの進捗評価を行った際、本文中に挙げられた234個の取組について、3段階の進捗評価を行った。

項目を整理し、数値化して評価指標を分かりやすくするよう指摘をいただいたため、令和3年度の審議会では、数値目標に評価区分を定め進捗評価を行った。

今回も同様の手法により進捗評価を行う。

1-2 進捗状況の確認について

建設産業ビジョン2019で示した指標（ビジョン 41,42ページ）

指標番号	指標内容	柱番号	種類
1	年間実労働時間	1	成果指標
2	建設業生産労働者年間賃金総支給額	2	成果指標
3	建設業従業者数（維持目標）	2	成果指標
4	建設業許可業者の社会保険加入率（適用除外を除く）	1	成果指標
5	売上高経常利益率 ※経常利益／売上高×100（％）	3	成果指標
6	週休2日工事入札の実施件数（県発注工事）	1	活動指標
7	工事着手日選択型工事の実施件数（県発注工事）	3	活動指標
8	若手技術者育成型入札の実施件数（県発注工事）	2	活動指標
9	地域を守る事業者維持・育成入札の実施件数（県発注工事）	4	活動指標
10	建設業への就業者数（高校卒業者）	2	成果指標
11	平準化率（ α 、 β ：県、市町）	3	成果指標
12	ICTを導入した建設企業数（県発注工事受注企業者）	4	成果指標
13	工事事故件数（県発注工事）	3	成果指標

柱番号 1 働き方改革の推進、2 担い手の確保・育成、3 建設現場における生産性の向上、4 経営の安定化と地域力の強化、5 美しい景観の創造力向上

1-3 進捗状況の確認について

① 各指標の整理

「基準値」 ビジョン策定時(平成29年度)の現状値

「現状値」 令和4年度の実績値（令和4年度実績が不明の場合は、判明時点の数値）

「期待値」 ビジョン策定時の短期目標(令和4年度末)を目標値として、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値 ※令和4年度については、期待値イコール短期目標値となる。

② 指標の種類

「活動指標」 事業の実績や活動結果である、事業による行政サービスの提供量や行政活動の量を示す指標（アウトプット指標）

「成果指標」 行政サービスの提供が市民生活にどのような成果や効果をもたらしているのかをあらわす指標（アウトカム指標）

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

5

1-4 進捗状況の確認について

③ 指標の評価判断区分

評価する年度の指標である「現状値」の判断区分は、「期待値」からの乖離状況による。

※令和4年度は、期待値イコール短期目標値

区分	判断基準
目標値以上	現状値が目標値以上のもの ※ (維持目標:「現状値」が「目標値」以上のもの)
A	現状値が期待値の推移の+30%超え～目標値未満のもの
B	現状値が期待値の推移の±30%の範囲内のもの (維持目標:「現状値」が「目標値」の85%以上100%未満のもの)
C	現状値が期待値の推移の-30%未満～基準値超えのもの (維持目標:「現状値」が「目標値」の85%未満のもの)
基準値以下	現状値が基準値以下のもの ※

※ 目標値以上と基準値以下は、成果指標のみが該当

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

6